#### 別紙 1

(マイス) (1000年) 「マイスクール用中間報告書様式】(小学校用)

### 学校の概要(平成15年4月現在)

学校名 花巻市立花巻小学校									
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	1 4	2 1
児童数	4 8	5 8	6 0	6 2	6 2	5 3	5	3 4 8	Z 1

## 研究の概要

## 1.研究主題

確かな学力の向上を目指した指導の工夫 一人一人に合った算数科の指導と評価を通して

## 2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

## 全学年 算数

児童の理解状況に差が出やすい教科であるため。 各学年での積み上げが必要不可欠な教科であるため。

## (2) 年次ごとの計画

テーマ 個に応じた指導法の工夫改善と評価の在り方 算数科における少人数指導を通して

平 成

14

年

度

研究の見通し(仮説)

児童一人一人の学力の状況を見極めながら個に応じた指導の在り方を 工夫改善していくならば、個々の力に合った学習が進められ確かな学力 が身に付くであろう。

研究の内容・方法

- ・ 少人数指導、習熟度別指導等指導形態、指導体制の工夫・改善
- ・ 基礎的・基本的内容を確実に定着させるための教材研究
- ・ 評価の在り方

テーマ 確かな学力の向上を目指した指導の工夫 一人一人に合った指導と評価を通して

平 成 研究の見通し(仮説)

算数科において、個に合った指導の仕方を工夫し、適切な評価を行うならば、確かな力を培うことができるであろう。

耳│ 研究の内容・方法

- ・レディネステストや学習内容に応じた効果的な学習集団の編成
- ・ 単位時間内の指導を充実させるための工夫
- ・ 学習習慣の定着(朝学習・家庭学習)

15年度

# テーマ 確かな学力の向上を目指した指導の工夫 一人一人に合った指導と評価を通して

研究の見通し

児童一人一人の学力を的確に把握し、個に応じた指導の在り方を工夫 改善しながら学習を進めていくならば、児童は自信をもって学習に励み、基 礎・基本を確実に身に付けることができるであろう。

研究の内容・方法

- 児童の実態把握と指導形態の工夫
- ・ 個に応じた指導法の工夫
- ・ 効果的に学習を進めるための指導者間の共通理解
- ・ 指導に生かすための評価方法と補充指導の在り方

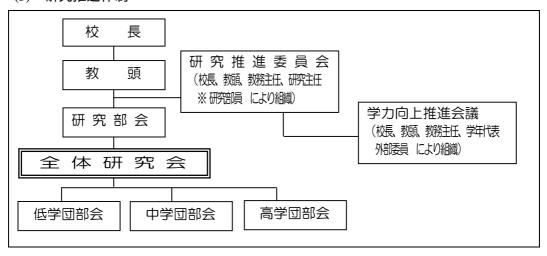
## (3) 研究推進体制

亚

成

16 年

度



## 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

## 1.研究の成果

加配を行った学年の単元テストの結果

単元名	指導形態	単元テストの結果			
单元名	相等形態	全国平均	学年の平均点		
1. かけ算	Т•Т				
2. 時こくと時間	т•т				
3. わり算	т•т	87	93, 5		
4. 水のかさのはかり方と表し方	T·T				
5. ぼうグラフと表	Т•Т				
6. 長い長さのはかり方	T·T.	81	97. 4		
<ul><li>暗算で計算しよう</li></ul>					
7. あまりのあるわり算	T·T	83	88, 8		
8、長方形と正方形	1C2T	81	92 0		
9. たし算とひき算のひっ算	1C2T	80	92 0 6 94 4		
10. かけ算のひっ算(1)	1C2T	82	84, 1		
1 1. 大きい数のしくみ	1C2T	82	91, 2		
12. 重さのはかり方と表し方					
13. かけ算のひっ算(2)					
<ul><li>そろばんで計算しよう</li></ul>					

	単元名	指導形態	単元テストの結果		
	単元名	拍導形態	期待得点	学年の平均点	
1.	大きい数のしくみ	Т•Т	80	84, 5	
2,	円と球	Т•Т	80	69, 5	
3.	わり算の筆算(1)	Т•Т	80	80, 5	
4.	折れ線グラフ	т•т	80	83, 5	
•	きろくを見やすく整理しよう		80		
5.	三角形と角	т•т	80	71.0	
6.	小数 :	т•т	80	93, 5	
7.	わり算の筆算(2)	т · т	80	84 0	
8.	がい数の表し方	1C2T	80	83, 0	
•	計算のやくそくを調べよう	1C2T			
9.	面積のはかり方と表し方	1C2T			
•	どのようにかわるかな				
10.	分数				

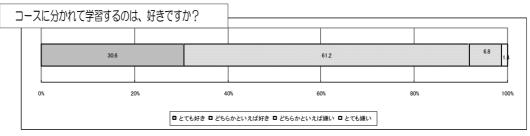
~	design.	-	学行	-~

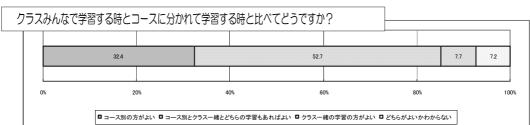
単元名	指導形態	単元テストの結果			
#/\G		期待得点	学年の平均点		
1. 小数と整数のしくみ	一斉指導	81		90	
2. 小数のかけ算とわり算(1)	1C2T	90 E	80, 5 86	⊕93, 0 ©81, 2	
<ul><li>だいたいいくらになるのかな?</li></ul>	1C2T	80, 5			
3. 垂直・平行と四角形	1C2T	81, 5	93, 5	₱95 0 ©92 0	
● 整数を2つのなかまに	1C2T	00	76	⊕82 5 ©72 7	
<ul><li>計算のきまりをみなおそう</li></ul>	1C2T	82.			
4. 小数のかけ算とわり算(2)	①一斉指導 ②1C2T	81	82	81, 5 ⊕90, 9 €)84, 0	
5. 平行四辺形と三角形の面積	①一斉指導 ②1C2T	81	æ	79 0 €)89 1 €)75 1	
6. 分数と小数	①一斉指導 ②1C2T	83	89	89 0 (5)88 6 (5)92 2	
<ul><li>三角形の角のひみつをさぐろう</li></ul>	①一斉指導 ②1C2T	81	94	90, 0 ⊕97, 6 €)92, 9	
7. 百分率とグラフ					
8. 円周と円の面積			-		

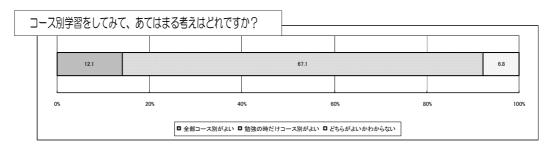
#### ≪第6学年≫

単元名		指導形態	単元テストの結果		
<b>#/6</b>		相等形態	期待得点	学年の平均点	
1. 倍数と約数		一斉指導	00	eo e	
•	だいたいいくらになるのかな?	т · т	83	68.5	
2.	分数のたし算とひき算	т.т	83	85, 3	
з.	平均	2C3T	83	92 3 993 5 284 5	
4.	単位量あたりのおおきさ	1 C 2 T	.82m	78.4 075.5 0100	
5.	分数のかけ算とわり算	一斉指導	£4	760.	
<ul><li>およその面積を求めよう</li></ul>			00	71. 0	
•	分数倍を考えよう			71. 0	
6.	比	Т•Т	82	88, 5	
7,	比例	Т•Т	82	91. 4	
8,	直方体と立方体	Т•Т			
9.	体積				
•	立体を調べよう				
•	算数卒業旅行				

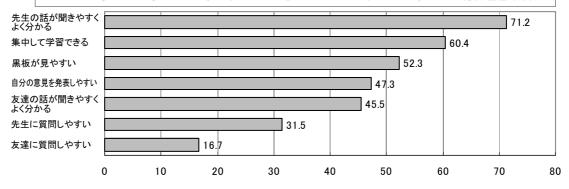
## 児童に対する意識調査の結果







# コースに分かれて学習してみて、よいと思うのはどんなことですか? (複数回答あり)



レディネステストや評価規準に基づいた評価により、児童の実態を具体的に捉えることができるとともに、指導体制を含め、支援を要する児童への手立てのポイントが絞りやすくなり、基礎的・基本的事項を身に付けさせることができた。

児童の実態に合わせた、導入の仕方等を工夫することにより、苦手意識の強い児童も興味・関心をもって授業に参加させることができた。

児童の意識調査から、自分のめあてに向かって取り組むことができるコース別の学習は、意欲的に取り組むことができる手立ての一つであった言うことができる。

段階に応じた練習プリント等の使用により、児童が意欲的に取り組む様子が見られた。また、指導者にとっては、個別支援の時間を生み出すことができるとともに 学習の到達状況を把握することができた。

## 2. 今後の課題

児童の実態をより明確に把握するためのレディネステストの内容吟味と効果的な事前指導の内容を検討していく。

評価規準及び判断基準の見直しを進めるとともに、判断基準に基づく毎時間の評価を蓄積し、児童の実態をより詳しく把握した上で、指導に当たる。

児童自身が、自分の伸びを感じ成就感を味わえるような自己評価の在り方を工夫する。

### 学力等把握のための学校としての取組

- 定期的な学力検査(CRT...2月下旬 NRT...4月初旬)
- ・ 計算力テスト(本校自作)…各学期末

#### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 学校公開研究会(10月)
- ・ 学校広報による研究成果の紹介(対象: PTA会員)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。 (複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 [レ] 14年度からの継続校

[<u>D</u>] 1 3 ~ 1 8 字級 2 5 学級以上

 【指導体制】
 □
 少人数指導
 □
 T. Tによる指導

 □
 一部教科担任制
 その他

生活 音楽 図画工作 家庭 体育 その他